

<b>■After</b> <b>建築名称</b> 下段: 英語名	<b>オトヤド イクハ</b> music guest house IKUHA		
<b>建築用途</b>	大分類 宿泊施設	小分類 ゲストハウス	
<b>改修設計者</b>	多田正治アトリエ+ENDO SHOJIRO DESIGN	<a href="#">URL</a>	
<b>所在地</b>	京都府京都市右京区太秦樋ノ内町1-9	<a href="#">Google Map</a>	
<b>改修年</b>	2020年		<b>After</b> 外観、建物の間口2.7mの狭さがよくわかる
<b>建築規模</b>	延床面積: 61.97㎡		<b>概要 after</b> 間口 2.7m、奥行き11.7mうなぎの寝床型敷地に立つ家屋の3階を構造材を残し撤去し2階建てのシェアホテルに
<b>掲載書誌</b>	0		
<b>賞・選定</b>	0		
<b>■Before</b> <b>建築名称</b>	<b>店舗付き住居</b>		
<b>建築用途</b>	大分類 商業施設 住居施設	小分類 飲食店 住宅	<b>概要 before</b> 1階で割烹料理店を営業し、2階と3階を住居として使っていた店舗付き住宅
<b>■写真</b> 改修前の外観 Before	<b>After</b> 2階内観: 3階床を撤去して生まれた天井が高い空間に2段の個室が並ぶ		<b>After</b> 個室
			
<b>撮影提供者</b> 提供: 多田正治アトリエ	<b>撮影提供者</b> 撮影: 松村康平 提供: 多田正治アトリエ		<b>撮影提供者</b> 撮影: 松村康平 提供: 多田正治アトリエ
<b>■リノベーション内容</b>	<b>キーワード</b> 用途変更、減築	<b>内容</b> <多田正治アトリエより抜粋> 間口 2.7m、奥行き11.7mうなぎの寝床型の敷地の多い京都の中でも極端な寸法の既存家屋のリノベーションである。まず、この幅の狭さによる空間の窮屈さを解消するために、3階を構造材を残してすべて取り払うことを考えた。これで客室となる2階の天井高さは2倍になり、上昇感のある空間が生み出される。細長い平面の長手方向を2分割するように、ベッドスペースを一列に設け、残り半分を共用スペースとするシンプルなプランとした。また構造補強として2層分の長さの筋交いを入れている。プランはこの斜材を避けるように成立しているが、プランを制約するのではなく、空間を引き締め豊かにする要素となっている。1階は割烹料理屋のまま手を入れず、壁面を白く塗装、一部にフロント、トイレ、浴室を挿入することとどめている。	
<b>■備考</b>	0		
<b>■作成者氏名/所属</b>	桐原武志/Free JIA再生部会		<b>管理者記載</b>